



## 「愛は子宮を救う実行委員会」が 子宮頸がん予防のためのWEB講演会を開催します

「愛は子宮を救う実行委員会」は、子宮頸がん予防のため、県内でHPVワクチンや子宮頸がん検診の普及啓発活動を行っている団体です。

本年度は、HPVワクチンのキャッチアップ接種※の最終年度であることから、県が実行委員会の活動に共催し、WEB講演会等の啓発活動を行っています。

※定期接種の対象年齢の間に接種を逃した方が、令和4年4月から令和7年3月までの間、公費負担で接種できる制度。

### 日時

令和6年8月17日(土) 14時30分から15時30分まで

### 司会

宮本強先生(信州大学医学部 産婦人科学教室准教授)

### 講師

笹川寿之先生

金沢医科大学産科婦人科嘱託教授 金沢大学医学部客員教授

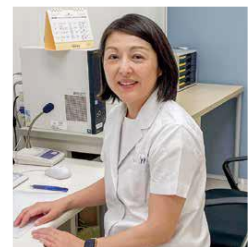
HPVワクチンと検診で守ろう女性の体



山本かおり先生 長野市医師会 産婦人科医師

HPVワクチンって、ぶっちゃけどうなの!?

教えてかおり先生



### URL

<https://youtube.com/live/g-kJ8BfE-qc?feature=share>

事前の申し込みは不要です。

YouTubeで配信します。講演終了後も御覧いただけます。



### 講演に関する問い合わせ先

愛は子宮を救う実行委員会 実行委員長 中村 ☎ 090-2720-6960



HPV「キャッチアップ接種」

2025年3月まで

平成9～19年度生まれの女性対象

(問合せ先)

担当 健康福祉部感染症対策課 木内

電話 026-235-7148 (直通)

026-232-0111 (代表) 内線4142

FAX 026-235-7334

E-mail kansen@pref.nagano.lg.jp



HPV「キャッチアップ接種」

2025年3月まで

平成9～19年度生まれの女性対象

平成9～19年度生まれの女性へ

# 公費による HPVワクチン「キャッチアップ接種」は 2025年3月までです



子宮頸がんは、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。

毎年1万人以上の女性が子宮頸がんにかかり、

毎年3,000人以上の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。

子宮頸がん予防のためのHPVワクチンの接種を逃した方に、  
公費による接種の機会（キャッチアップ接種）をご提供しています。

接種は合計3回で、完了するまでに約6か月かかるため、接種を希望する方は、

**今年の9月までに** 接種を開始することをご検討ください。

HPVワクチンの「キャッチアップ接種」についてもっと詳しく知りたい方はこちら

厚生労働省ホームページ  
厚労省 キャッチアップ 検索



HPVワクチンに関するよくあるQ&Aはこちら



対象の方には、お住まいの市町村から接種券が届いています。

お手元がない場合は、再発行も可能ですので、市町村にお問い合わせください。